

第 9 回 ポラカイビーチリゾートの裏と表①

イントロダクション

旅と観光、労働と余暇、遊びと幸せ

フィリピン・ボラカイ島

- ・ フィリピン・西ビサヤ地方、パナイ島の北側
- ・ マニラから、飛行機で 1 時間 + 船で 10 分
- ・ 全長 4km のホワイトビーチ、世界的に有名な観光リゾート
- ・ 人口 12000 人 (2000 年国勢調査)、年間観光客約 60 万人、外国人観光客約 20 万人

生活環境主義とは？

- ・ 生活環境主義 [古川・松田 2003] — 「生態系や地球環境を見通した環境保全ではなく、

居住者の生活システム保全を第一として環境問題に対処する立場」

⇒ときにローカルな環境保全、ときに環境を破壊する積極的な介入という選択

疑問①：「生活システム保全」のあいまいさ

疑問②居住者とはだれなのか？

## ボラカイ島の環境の喪失

・「常に失われ続けている」という喪失への嘆きの理由

①大規模観光開発以前のボラカイへのノスタルジア

②観光資源としての自然環境の喪失—持続可能な観光開発への望み

③観光開発の環境汚染による生活侵害

\* ①と②はゲストとホスト双方が当事者、③のみ在住者や長期滞在者が当事者

## リアクションペーパー

(a) 講義内容

(b) 質問・コメント

(c) クイズ：行ったことのある／行ってみたい観光地

## 参考文献

古川彰・松田素二（編）『観光と環境の社会学』新曜社

橋本和也（1999）『観光人類学の戦略—文化の売り方・売られ方』世界思想社

橋本和也・佐藤幸男（編）『観光開発と文化—南からの問いかけ』世界思想社

山下晋司（1999）『バリー—観光人類学のレッスン』東京大学出版会